



10月 町屋幼稚園だより

令和5年9月29日
荒川区立町屋幼稚園
園長 高田 大

みんなで作る運動会

園長 高田 大

去る9月22日（金）に第七峽田小学校と合同での研究発表会を行い、幼稚園・保育園・小学校を中心に150名以上の先生方が来園されました。公開保育では初めて目にするたくさんの大人たちに囲まれながらも、子どもたちは普段通りの笑顔で過ごしており、中には持ち前のコミュニケーション力で作ったものを見てもらったり一緒に遊んでもらったりする子もいました。

年長いるか組では「運動会のリズムを考えよう」の保育を見ていただきました。3人ずつのグループで『獅子舞-shishimai-』の曲に合わせて、オリジナルの振りを作り上げる活動です。

カセットデッキを使いながら、自分たちで試したり相談したりして楽しそうに振り付けを考えるその姿に、参加された小学校の先生から「幼稚園を初めて見させていただき、子どもたちが自分でダンスを考えることができるのが本当にすごいなと思いました」という感想もいただきました。

また年中うさぎ組は「宇宙人からの手紙」をきっかけに、宇宙をテーマやモチーフとして好きな遊びの時間を過ごしています。運動会でも日頃の遊びから派生した、宇宙にまつわる種目を行う見通しです。

自分たちで作る演技や、日頃の生活が行事につながる「みんなで作る運動会」が本園の特色です。今年の運動会では4年ぶりにご来賓の皆様もお招きし、また未就園児や修了児の種目も実施します。子どもたち、保護者、教職員、お客様、みんなで運動会を盛り上げていきたいと思ひます。

《今月のねらい》

- 【年 中】 ○友達と体を動かして遊ぶ心地よさを味わう。
○自分の思いを言葉や動きにして伝えたり、相手の思いに気付いたりしながら関わりを楽しむ。
○身近な秋の自然にふれたり、遊びに取り入れたりして楽しむ。
- 【年 長】 ○季節の移り変わりに関心をもちながら、自分なりに見通しをもち、生活や遊びを進めていこうとする。
○自分なりの目当てをもって意欲的に遊びに取り組む中で、自分の力を発揮する楽しさを味わう。
○秋の自然に触れ、工夫したり試したりして遊びに取り入れることを楽しむ。



運動会に向けて楽しんでいる子どもたち



いろいろな運動遊びを楽しんでいるうさぎ組。繰り返し挑戦して、できるようになったことが増えて、嬉しそうです！



いるか組は、運動会に向けて、いろいろなことを皆で相談して決めています。自分たちでやろう！という期待が膨らんでいます。



令和5年度から区内全園で「令和5年度荒川区幼稚園・子ども園幼児の運動能力に関する調査」を実施することになりました。

幼児期の子ども達は、神経機能の発達が著しく、タイミングよく動いたり、力の加減をコントロールしたりするなどの運動を調節する能力が顕著に向上する重要な時期です。一方、運動不足などによる全国的な体力の低下が懸念されているところであり、区内の幼児についても転んだ時に手がとっさに出ない子や床にすぐ寝転がったりしてしまう子どもが見受けられます。そこで、幼児の体力の現状を把握し、その調査結果を踏まえ、幼児の体力の向上に生かしていきたいとの考えが、本調査の背景にあります。

保護者の皆様におかれましては、本取組についてご理解とご協力いただきますようお願いいたします。